

シリーズ「グローバル・ジャスティス」  
第1回

# イスラームと グローバル・ジャスティス

内藤 正典

グローバル・スタディーズ研究科 教授

イスラームをめぐる問題は、ムスリムと非ムスリムのあいだでジャスティスの観念が対立する典型的なケースである。

第1回目のセミナーとして、9.11を指標として、その前後に、イスラームをめぐる様々なイシューが、ジャスティスとの関係で、どのように論じられてきたかを検討していく。



同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科では、連続セミナー「グローバル・ジャスティス」を開催いたします。このセミナーは、現代世界が直面するさまざまな課題における「ジャスティス」の問題を、講師が自らの視点で語っていくものです。したがって、どのような視角で、何を問題としてジャスティスを論じるかは講師にゆだね、主催者は一切の方向性をあらかじめ規定いたしません。ジャスティス(正義)という言葉のもつ多義性や問題性もふくめて、多様な議論の場として提供していくものです。

日時： 10月20日(水)

18:30-20:00

会場：博遠館 212番教室

来聴歓迎・予約不要

同志社大学  
グローバル・スタディーズ研究科

tel. 075-251-3930

e-mail. [ji-gs@mail.doshisha.ac.jp](mailto:ji-gs@mail.doshisha.ac.jp)